

LECTURE

講演会報告

大学

男性学を専門とされ、『立身出世と下半身―男子学生の性的身体の管理の歴史』などの著作がある澁谷知美先生を招いて講演いただきました。

まず男についての「守る」の裏にある「守る」「守られる」の関係とは、庇護する側である男と庇護される立場の女という力関係であると説明されました。男が女を守りたがる理由はこの力関係だけでなく格付けしあう男同士の関係にもあります。女を「守る」ことのできる男としての「オレ」が、自分の力を見せ付けたくて意識するのは男なのだそうです。

さらに、男性が外で働き女性が家事や育児を担う夫婦モデルにおいて、男が女を「守る」ことは難しいとし、「守る」ことが男にとって困難な時代であることを証明するためにいくつかのデータや例をとりあげられました。仕事を優先するあまり育児に協力的でない夫は次第に妻から愛されなくなるであろうことを指摘されたり、男性の自殺率の高さからは仕事に「オレ」を賭けている男性の多さを読み取られていました。

最後に、男性は女性を応援する、パートナーがほしいれば相手の話を聞く、女性は「守られる」ことを期待しない、など男女それぞれにアドバイスをくださいました。

- ジェンダー・女性学研究所主催
第29回定例セミナー『男は女を守るか ― いていか、どうして守りたいの?』
- 東京経済大学准教授 澁谷知美氏
- 6/12 長久手キャンパス



持続可能な社会づくりに向けて、次世代交通システムなどの開発に取り組む、トヨタ自動車株式会社。その第一線で活躍する川本雅之氏が、環境問題や高齢化社会に対応した新たな技術について語ってくださいました。

環境問題については、豊田市で実証実験に取り組む「次世代地方都市型低炭素化システム」を解説。太陽光パネル、充電スタンド、プラグインハイブリッド車、家庭用蓄電池を備えた約70戸の住宅で実践されている「CO₂排出を減らす暮らし方」に、学生たちも関心を寄せていました。また、高齢化社会対応については、アクセシビリティをキーワードに、地域の人々が自家用車感覚で気軽に利用できる「オンデマンドバス」などを紹介。未来の公共交通のあり方を考える機会となりました。

「未知の10年、20年に果敢に挑戦し、すべての人に優しい交通システムの開発に努めます」と力強く語った川本氏。人や社会への貢献をめざして心理学、人間工学、図書館情報学を学ぶ人間情報学部、図書館情報学部の学生たちは、大いに刺激を受け、向学心を高めてより意欲的に学修を深めていくことでしょう。



- 人間情報学部第2回講演会
「環境問題と高齢化社会対応 ― 課題解決技術先進国をめざして―」
- トヨタ自動車株式会社
技術統括部 主査
川本雅之氏
- 9/30 長久手キャンパス

